

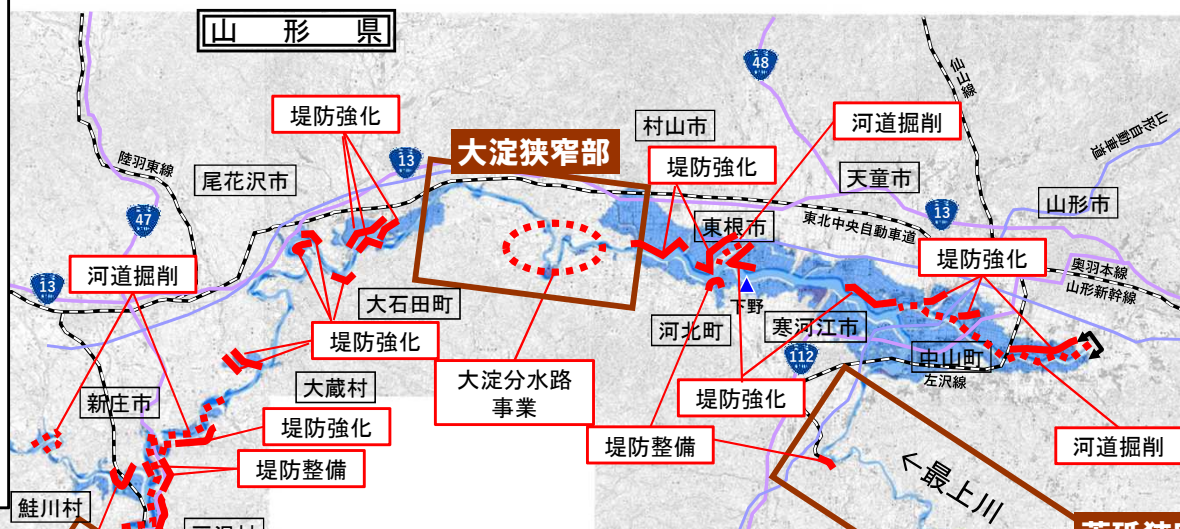
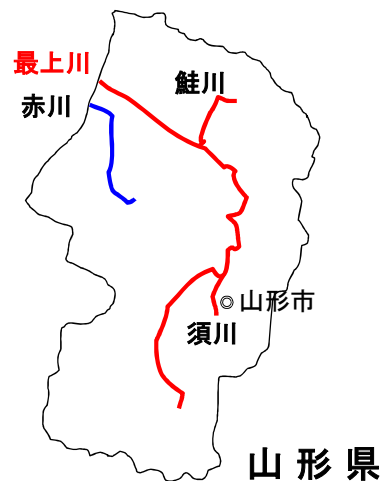
最上川水系流域治水プロジェクト【素案】

情報提供 2

～狭窄部の抜本的な治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が各地で発生したことを踏まえ、最上川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、昭和42年洪水（前線及び低気圧）＜上流部で戦後最大＞及び昭和44年洪水（低気圧）＜中流部・下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策
 国の対策内容 河道掘削、堤防整備、分水路整備等
 ※今後、関係機関と連携し、都県管理区間の河川改修を追加予定

■流域における対策のイメージ
 ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 ・既存ダムの洪水調節機能の強化
 ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ
 ・水位計・監視カメラの設置
 ・マイタイムラインの作成 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討



山形市 須川(門田橋)



川西町

昭和42年8月洪水

凡例

 浸水想定区域 (昭和42年8月洪水等と同規模)
 大臣管理区間

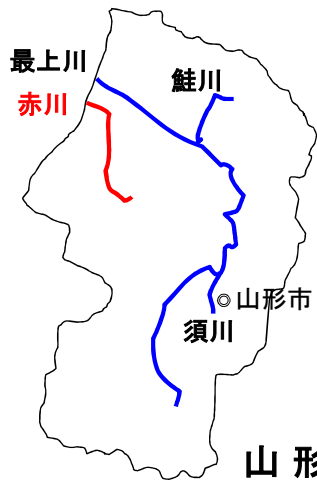
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

赤川水系流域治水プロジェクト【素案】

～放水路の機能を最大限に活かし、鶴岡都市圏を水害から守る治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が各地で発生したことを踏まえ、赤川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、観測史上最大の昭和15年洪水（低気圧）と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



山形県



昭和15年洪水
家屋浸水1,266戸
(実績被害)

■河川における対策

国の対策内容 河道掘削、床止工改築 等
※今後、関係機関と連携し、都県管理区間の河川改修を追加予定

昭和15年洪水



鶴岡市(菅原橋が落橋)

■流域における対策のイメージ

・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
・既存ダム洪水調節機能の強化
・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ

・水位計・監視カメラの設置
・マイタイムラインの作成 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

凡例

- 浸水想定区域(昭和15年7月洪水と同規模想定)
- 大臣管理区間

